

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：2024年1月～2024年12月

2024年度



作成日 2025年5月19日

(適用ガイドラインは2017年度版による)



松美段ボール株式会社

長崎県東彼杵郡川棚町新谷郷1258-6

目 次

1. 組織の概要	3-4
2. 環境経営方針	5
3. 環境負荷の状況	6
4. 環境経営目標	7
5. 環境経営計画	8
6. 環境経営目標の実績とその評価	9-10
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	11
8. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取り組み	12
9. 今後の目標	13
10. 今後の環境経営計画	14
11. 当社の環境活動	15-17
12. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	18
13. 代表者による全体の評価と見直し・指示	18

1. 組織の概要

(1) 事業者名および代表者名

松美段ボール株式会社
代表取締役社長 杉本和基

(2) 所在地

〒859-3169 長崎県東彼杵郡川棚町新谷郷1258-6

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役工場長 田中正司 (2025年2月26日より)
EA21事務局 品質管理室長 島田直己
TEL 0956-82-2613
FAX 0956-82-2618
URL <http://www.matsumi-db.co.jp>
E-mail mail@matsumi-db.co.jp

(4) 事業内容

段ボール箱の製造並びに各種包装資材の販売

(5) 事業の規模

会社設立: 1972年9月 資本金: 1,000万

(年度は毎年1月～12月)

	2022年度	2023年度	2024年度
生産量 [千m ²]	2,500	2,318	2,163
工場敷地 [m ²]	4,620	4,620	4,620
床面積 [m ²]	1,638	1,638	1,638
従業員 [名]	18	18	18

(6) 対象の範囲

事業に関わる全活動・全組織を対象範囲とする。

事業活動: 段ボール製品の製造・販売

(7) 対象の期間

第52期: 2024年度
2024年1月～12月

(8) 資格取得一覧

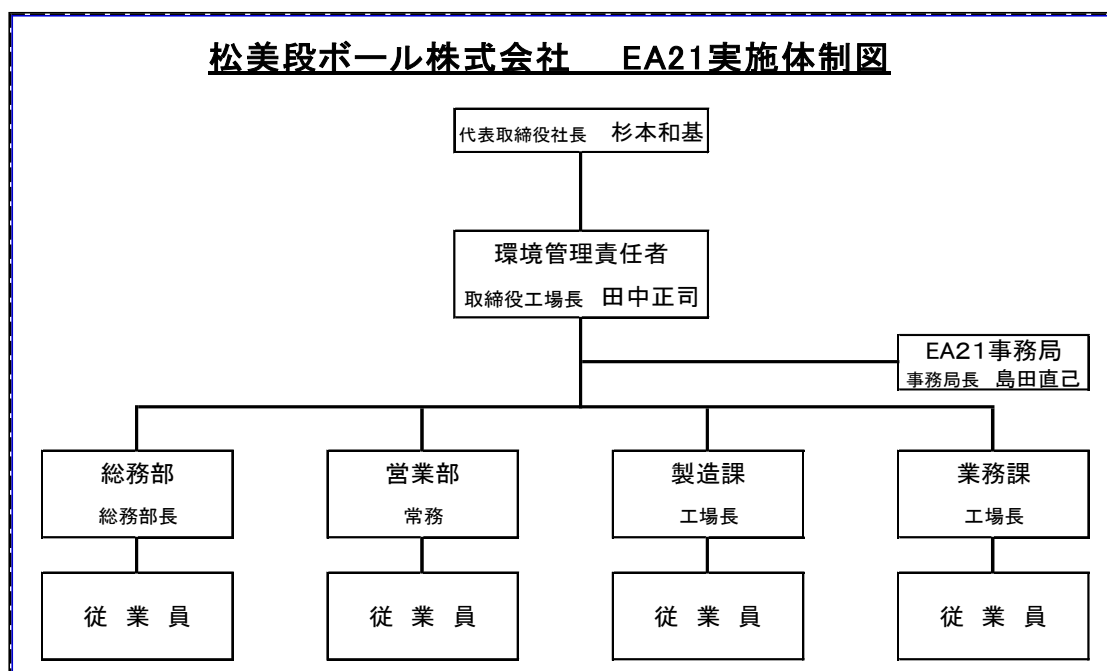
資格名	保有者数	備考
第1種衛生管理者	2名	
クレーン特別講習	2名	
玉掛け	2名	
フォークリフト	14名	
危険物乙4類	3名	
包装士	1名	
包装管理士	4名	

(9) 教育訓練終了一覧

講習名	受講者数	備考
安全管理者選任時研修	3名	
職長安全責任者教育	6名	
安全衛生推進講習	5名	
KYT研修	5名	
リスクアセスメント研修	1名	

1. 組織の概要

(10) 実施体制



責任・権限・役割

職名	責任・権限・役割
代表取締役社長	1 環境マネジメントを実施するために責任、権限、役割を定め、各自が環境経営システムの中で、どのような役割を担っているかを認識できる組織体制を従業員に周知する 2 環境管理責任者を任命し、EA21の運用における責任と権限を与える 3 EA21の実施及び管理に必要な人員、設備、運用など(以下資源という)を準備する 4 環境経営方針を制定する 5 EA21全体の評価と見直しをし、必要な指示を行う
環境管理責任者	1 方針に基づく目標の設定及び推進確認 2 EA21システムの円滑な運用 3 データの収集、文書の作成、管理 4 社長への状況、実績の報告
EA21事務局	1 環境管理責任者の補佐 2 EA21システムの構築、運用、維持に関する文書、記録の管理
製造部・業務部	1 取組内容を把握し、率先して取り組む 2 現場の5S
総務部	1 事務所の電力、燃料、水使用量の管理 2 事務所の5S
営業部	1 販売拡大、リサイクルマークの推進 2 営業車の燃費管理及びエコ運転の推進
全従業員	1 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を認識し、実践する 2 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 3 環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告、連絡、相談

2. 環境経営方針

松美段ボール株式会社 環境経営方針

基本理念

松美段ボール株式会社は、リサイクルシステムが確立されている段ボール製品を社会へ提供していく事で循環型社会を支えると共に、製品の製造販売に当たって省資源、省エネルギー等に努め地球温暖化防止に貢献します。

行動方針

- 1、常に環境への影響を考え、環境負荷の少ない、段ボール製品を積極的に世の中へ提供します。
- 2、環境保全の重要性を認識し、事業活動に起因する環境影響を評価しつつ 下記の事を積極的に推進します。
 - ① 省資源に取り組めます
 - ② 省エネルギーに取り組めます
 - ③ 廃棄物削減とリサイクルの推進に取り組めます
 - ④ 水使用量の削減に取り組めます
 - ⑤ 有害化学物質使用量の削減に取り組めます
 - ⑥ 環境に配慮した製品の活用に努めます
- 3、川棚町の環境を大切に、周辺地域の環境美化に努めます。
- 4、技術的・経済的に可能な限り、環境経営目標を定め環境保全活動の継続的な改善、及び汚染の予防を図ります。
- 5、環境関連法規制、及びその他の要求事項を遵守した環境活動を推進します。
- 6、環境経営方針は文書化し、全社員及び協力業者に周知徹底すると共に、一般の人々にも公開します。



松美段ボール株式会社

改定日 2021年 4月1日

制定日 2010年 4月1日

代表取締役社長

杉本 和基

3.環境負荷の状況

(1)環境への3か年の環境への負荷の実績

(年度は1月～12月)

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	109,181	104,546	101,404
電気使用量	kWh	85,631	82,680	76,894
ガソリン使用量	L	8,831	8,803	6,737
軽油使用量	L	14,896	13,805	15,716
一般廃棄物排出量	kg	1,331	1,196	1,127
産業廃棄物排出量	kg	13,312	2,340	3,020
水使用量	m ³	137	132	148
総排水量	m ³	137	132	148
化学物質使用量	kg	使用なし		
太陽光発電(売電)	kWh	18,700	20,870	19,442
資源等使用量	kg	1,717,285	1,689,780	1,566,570
バージン資源使用量	kg	2,110	2,280	1,920
循環資源使用量	kg	1,715,175	1,687,500	1,564,650
段ボール自社製品製造	千m ²	2,557	2,500	2,318

購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、0.580kg-CO₂/kWh(2020年度、王子・伊藤忠エネクス電力販売)として算出しています。

4. 環境経営目標

目標は2021年度を規準とします。削減項目は毎年1%ずつ削減とします。

(年度は1月～12月)

項目	単位	2021年度 実績 (基準年)	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
1 二酸化炭素排出量の削減	t-CO ₂	108.6	107.5	106.4	105.4
①電力使用量の削減	kWh	85,631	84,775	83,927	83,088
②ガソリン使用量の削減	ℓ	8,831	8,743	8,655	8,569
③軽油使用量の削減	ℓ	14,896	14,747	14,600	14,454
2 廃棄物排出量の削減					
故紙発生率の削減	%	3.2	3.2	3.1	3.1
事務所コピー枚数の削減	—	—	目標設定せず、都度実施		
3 リサイクルの推進					
段ボール自社製品製造	千m ² /年	2,541	2,500	2,500	2,500
4 水資源の削減					
上水道使用量の削減	m ³ /年	137	136	134	133
5 事業活動に伴う環境配慮					
環境配慮製品の活用	—	都度実施	都度実施	都度実施	都度実施
リサイクルマーク印刷率向上	%	100.0%	100%	100%	100%
6 地域環境美化活動					
地域環境美化活動	12回/年	12	12	12	12
地域故紙回収	kg/月	1108	1100	1100	1100
※購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、0.580kg-CO₂/kWh(2020年度、王子・伊藤忠エネクス電力販売)として算出しています。 ※エネルギー使用量の目標値は、段ボール販売量の目標値と各原単位目標値を考慮し算出。 ※リサイクルマーク印刷率向上:リサイクルマーク(♻)を段ボールケースに印刷する					

5.環境経営計画（2022年度～2024年度）

○環境経営計画に必要な具体的取組を次のとおり策定しました。

環境経営目標	目標達成のための主要な環境活動	責任者
1. 二酸化炭素排出量の削減		
①.電力使用量の削減	1) 必要のない電気(照明)を消す 2) パソコンの電源OFFを励行する 3) 空調の温度設定に留意する 4) 空調機のフィルターの清掃をこまめに行う 5) 省エネ型電化製品の採用を考慮する(照明のLED化) 6) 工場における省エネとしての設備導入 7) デマンドによる管理 8) カッターブロアの間欠運転	工場長 総務
②・③.ガソリン・軽油使用量の削減	1) エコドライブの励行(急発進・急停止の厳禁等) 2) アイドリングストップの励行 3) 最短の配送ルート事前に検討する 4) タイヤ空気圧等、車両整備を行う 5) 走行距離の記録を確実に 6) ハイブリッド車の導入	常務
2. 廃棄物排出量の削減		
故紙発生率の減少	1) 分別処理の徹底 2) 機械のメンテナンスによりFDCロス率の削減 3) 機械のメンテナンスによりグルアロス率の削減 ※FDC(印刷機) ※グルア(糊付け)	工場長
事務所コピー枚数の削減	1) ミスコピーを無くす 2) コピー終了後は、リセットボタンを押す	総務
3. リサイクルの推進		
段ボール販売量の増加	1) 1日の訪問軒数を10軒以上 2) 新規の販売先の開拓5軒/月以上 3) リデュースにつながる材質、形式の提案(サンプルカッターの導入)	常務
4. 水資源使用量の削減		
上水道使用量の削減	1) 節水シールの貼り付けとポスター掲示 2) 水道の出しっ放し洗いをしない 3) 洗車時の節水の励行	業務 総務
5. 事業活動に伴う環境配慮		
環境配慮製品の活用	1) 当社で購入可能な商品を取捨選択する 2) 省エネ製品購入に努める	総務
リサイクルマークの印刷率向上	1) リサイクルマークのない製品のリストにより順次つける	常務
6. 地域美化活動		
地域美化活動 地域古紙回収	1) 月1回会社周辺の清掃を行う 2) 全員参加を原則とする 3) 月1回会社及び周辺家庭より回収する	総務

6-1. 環境経営目標の実績とその評価(2024年度)

環境目標項目	単位	目標値	実績	* 達成率	判定
1 全社二酸化炭素排出量の削減	t-CO2	105.4	92.1	114.4%	○
①電力使用量の削減	kWh	83,088	60,624	137.1%	○
②ガソリン使用量の削減	L	8,569	5,589	153.3%	○
③軽油使用量の削減	L	14,454	16,790	86.1%	×
2 廃棄物排出量の削減					
①故紙発生率の削減	%	3.1	3.2	96.9%	△
事務所コピー枚数の削減	—	目標設定せず,都度実施		—	○
3 リサイクルの推進					
段ボール自社製品製造	千㎡/年	2,500	2,163	86.5%	×
4 水資源の削減					
上水道使用量の削減	㎡/年	133	150	88.7%	×
5 事業活動に伴う環境配慮					
環境配慮製品の活用	—	目標設定せず,都度実施		—	○
リサイクルマーク印刷率向上	%	100%	100.0%	100.0%	○
6 地域美化活動					
地域環境美化活動	12回/年	12	12	12	○
地域古紙回収	kg/月	1100kg	891kg	81.0%	×

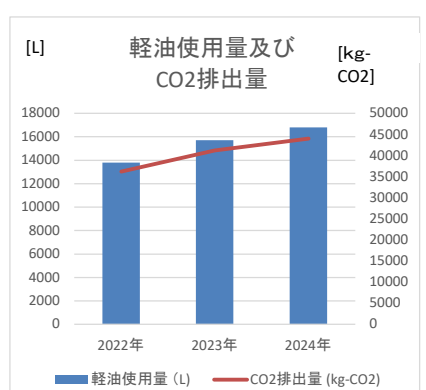
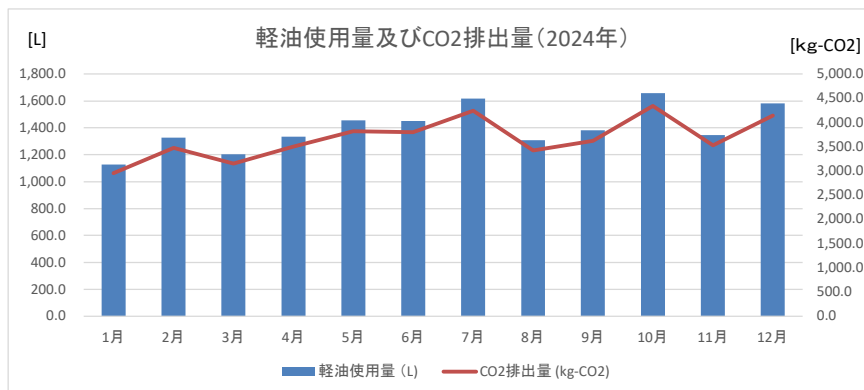
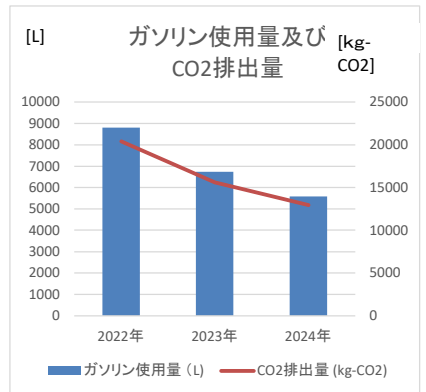
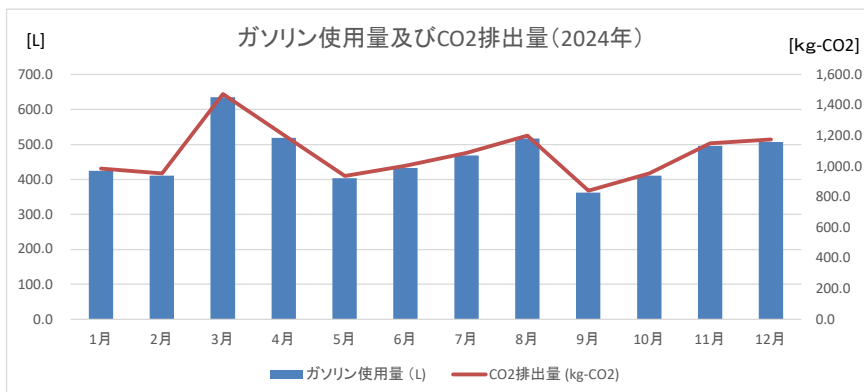
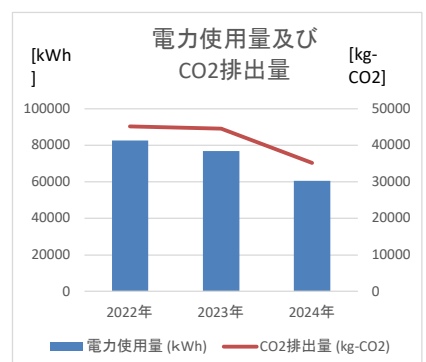
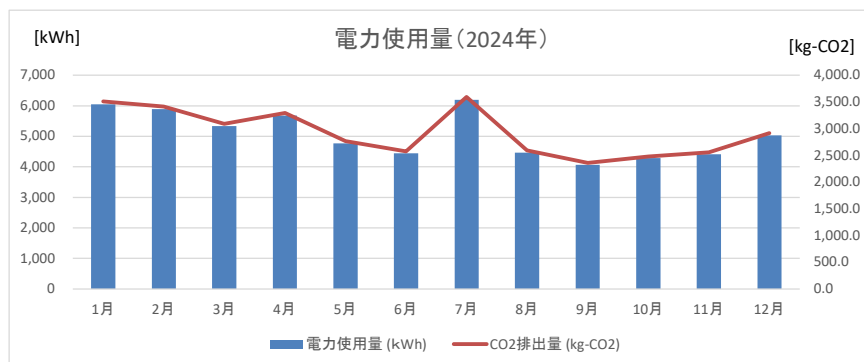
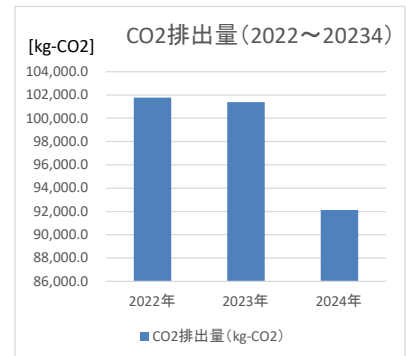
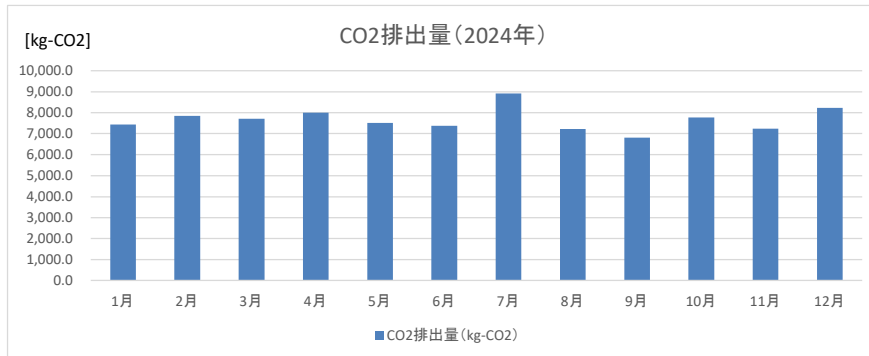
※達成率：改善の場合＝目標値/実績，削減の場合＝実績/目標値

判定：97%以上 ○。90%以上97%未満△、90%未満 ×

※購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、0.580kg-CO2/kWh(2020年度、王子・伊藤忠エネクス電力販売)として算出しています。

6-2. 環境負荷の年間推移(2024年度)

全社二酸化炭素排出量の削減



7. 環境経営計画の実績・取組結果とその評価(2024年度)

○'当社における、2024年度の環境経営計画の実績・取組結果とその評価はつぎのとおりです。

環境経営目標	目標達成のための主要な環境活動	スケジュール				責任者
1. 二酸化炭素排出量の削減		1～3	4～6	7～9	10～12	
①.電力使用量の削減	1)必要のない電気(照明)を消す	○	○	○	○	工場長 総務
	2)パソコンの電源OFFを励行する	○	○	○	○	
	3)空調の温度設定に留意する	○	○	○	○	
	4)空調機のフィルターの清掃をこまめに行う	○	○	○	○	
	5)省エネ型電化製品の採用を考慮する(照明のLED化)	○	○	○	○	
	6)工場における省エネとしての設備導入	○	○	○	○	
	7)デマンドによる管理	○	○	○	○	
	8)カッターブローの間欠運転	○	○	○	○	
②・③.ガソリン・軽油使用量の削減	1)エコドライブの励行(急発進・急停止の厳禁等)	○	○	○	○	常務
	2)アイドリングストップの励行	○	○	○	○	
	3)最短の配送ルートを事前に検討する	○	○	○	○	
	4)タイヤ空気圧等、車両整備を行う	○	○	○	○	
	5)走行距離の記録を確実にを行う	○	○	○	○	
2. 廃棄物排出量の削減		1～3	4～6	7～9	10～12	
①故紙発生率の減少	1)分別処理の徹底	○	○	○	○	工場長
	2)機械のメンテナンスによりFDCロス率の削減	○	○	○	○	
	3)機械のメンテナンスによりグルアロス率の削減 ※FDC(印刷機) ※グルア(糊付け)	○	○	○	○	
②事務所コピー枚数の削減	1)ミスコピーを無くす	○	○	○	○	総務
	2)コピー終了後は、リセットボタンを押す	○	○	○	○	
3. リサイクルの推進		1～3	4～6	7～9	10～12	
段ボール販売量の増加	1)1日の訪問軒数を10軒以上	○	○	○	○	常務
	2)新規の販売先の開拓5軒/月以上	○	○	○	○	
	3)リデュースにつながる材質、形式の提案(サンプルカッターの導入)	○	○	○	○	
4. 水資源使用量の削減		1～3	4～6	7～9	10～12	
	1)節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	○	○	○	業務 総務
	2)水道の出しっ放し洗いをしない	○	○	○	○	
	3)洗車時の節水の励行	○	○	○	○	
5. 事業活動に伴う環境配慮		1～3	4～6	7～9	10～12	
環境配慮製品の活用	1)当社で購入可能な商品を取捨選択する	○	○	○	○	総務
	2)省エネ製品購入に努める	○	○	○	○	
リサイクルマークの印刷率向上	1)リサイクルマークのない製品のリストにより順次つける	○	○	○	○	常務
6 地域美化活動		1～3	4～6	7～9	10～12	
地域美化活動 地域古紙回収	1)月1回会社周辺の清掃を行う	○	○	○	○	総務
	2)全員参加を原則とする	○	○	○	○	
	3)月1回会社及び周辺家庭より回収する	○	○	○	○	

8 環境経営計画の取組み結果と評価及び次年度の取組み

- | | |
|----------------|---|
| 1. 二酸化炭素排出量の削減 | 二酸化炭素排出量、電力使用量、ガソリン使用量が○判定。
太陽光パネルの増設が電力、CO2の原単位削減に大きく寄与した。
軽トラックの使用の減少に伴い、ガソリン使用量も削減した。
軽油使用量は前年5月に1.5t車を増車した影響で×判定。
ただし、これらは段ボール生産量に大きく影響される。
引き続き効率の良い配送に努める。 |
| 2. 廃棄物排出量の削減 | 故紙発生率が△判定。冬場のシート割れ対策など、引き続き
故紙発生率の削減に取り組む。 |
| 3. リサイクルの推進 | 段ボール自社製品製造は×判定。
地域産業ならではのきめ細やかな営業・配送の体制を構築し、
青果物や通販需要の取り込みを強化し、販売増に繋げていく。 |
| 4. 水資源使用量削減 | ×判定。エネルギー使用量と同じく段ボール生産量に影響される。
今後も無駄遣い、設備の異常などないように監視する。 |
| 5. 環境配慮製品 | ○判定。従来通り進める。 |

(総括)

販売量回復、ロス減少、原単位改善のため品質クレームゼロを目指し、活動を行った。
二酸化炭素排出量、電力使用量、ガソリン使用量は目標達成。
太陽光パネルを増設し、全てを自家消費に切り換えたことにより、目標達成に大きく寄与した。
軽油使用量は目標未達となったが、前年の1.5t車を導入(増車)の影響であり問題は無いと思われる。
故紙発生率の削減は目標未達。段ボール生産量も目標未達となった。
その中でも段ボール自社製品製造が達成率86.5%で×判定。生産に関してはグループの最適生産体制の構築を行っている。販売量については地域産業ならではのきめ細やかな営業・配送の体制を構築し、青果物や通販需要の取り込みを強化していく。

故紙発生率については、引き続き削減に取り組む。
品質クレームについては、社員教育、検査の徹底により品質クレームゼロをめざす。
電力、ガソリン、軽油、水の使用量は生産量(段ボール生産量)の増減に影響される。
段ボール販売量が目標達成時に、各原単位が目標達成できるよう、削減に努めていく。

9. 今後の環境経営目標(2025年度～2027年度)

◇削減目標: 2024年実績値を基準値として、年々1%ずつ削減する。

◇改善目標: 2024年実績値を基準値として、年々1%ずつ改善する。

(年度は1月～12月)

項目	単位	2024年度 実績 (基準年)	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
1 二酸化炭素排出量の削減	t-CO2	88.7	87.8	86.9	86.0
①電力使用量の削減	kWh	60,624	60,018	59,412	58,805
②ガソリン使用量の削減	ℓ	5,589	5,533	5,477	5,421
③軽油使用量の削減	ℓ	16,790	16,622	16,454	16,286
2 廃棄物排出量の削減					
故紙発生率の削減	%	3.2	3.1	3.1	3.1
事務所コピー枚数の削減	—	—	目標設定せず、都度実施		
3 リサイクルの推進					
段ボール販売量の増加	千m ² /年	2,163	2,500	2,500	2,500
4 水資源の削減					
上水道使用量の削減	m ³ /年	150.0	148.5	147.0	145.5
5 事業活動に伴う環境配慮					
環境配慮製品の活用	—	都度実施	都度実施	都度実施	都度実施
リサイクルマーク印刷率向上	%	100.0%	100%	100%	100%
6 地域環境美化活動					
地域環境美化活動	12回/年	12	12	12	12
地域故紙回収	kg/月	891	600	600	600
※購入電力の二酸化炭素調整後排出係数は、0.524kg-CO2/kWh(2024年度、王子・伊藤忠エネクス電力販売)として算出しています。 ※リサイクルマーク印刷率向上: リサイクルマーク(♻️)を段ボールケースに印刷する。					

10. 今後の環境経営計画(2025年度～2027年度)

○環境経営計画に必要な具体的取組を次のとおり策定しました。

環境経営目標	目標値(2027年度)	目標達成のための主要な環境活動	責任者
1. 二酸化炭素排出量の削減			
①.電力使用量の削減	58,805kWh	1) 必要のない電気(照明)を消す 2) パソコンの電源OFFを励行する 3) 空調の温度設定に留意する 4) 空調機のフィルターの清掃をこまめに行う 5) 省エネ型電化製品の採用を考慮する(照明のLED化) 6) 工場における省エネとしての設備導入 7) デマンドによる管理 8) カッターブローの間欠運転	工場長 総務
②・③.ガソリン・軽油使用量の削減	ガソリン: 5,421L 軽油: 16,286L	1) エコドライブの励行(急発進・急停止の厳禁等) 2) アイドリングストップの励行 3) 最短の配送ルートを事前に検討する 4) タイヤ空気圧等、車両整備を行う 5) 走行距離の記録を確実に 6) ハイブリッド車の導入	常務
2. 廃棄物排出量の削減			
故紙発生率の減少	3.1%	1) 分別処理の徹底 2) 機械のメンテナンスによりFDCロス率の削減 3) 機械のメンテナンスによりグルアロス率の削減 ※FDC(印刷機) ※グルア(糊付け)	工場長
事務所コピー枚数の削減	目標設定せず、都度実施	1) ミスコピーを無くす 2) コピー終了後は、リセットボタンを押す	総務
3. リサイクルの推進			
段ボール販売量の増加	2,500千㎡	1) 1日の訪問軒数を10軒以上 2) 新規の販売先の開拓5軒/月以上 3) リデュースにつながる材質、形式の提案(サンプルカッターの導入)	常務
4. 水資源使用量の削減			
上水道使用量の削減	145.5㎡	1) 節水シールの貼り付けとポスター掲示 2) 水道の出しっ放し洗いをしない 3) 洗車時の節水の励行	業務 総務
5. 事業活動に伴う環境配慮			
環境配慮製品の活用	環境配慮製品の活用	1) 当社で購入可能な商品を取捨選択する 2) 省エネ製品購入に努める	総務
リサイクルマークの印刷率向上	100%	1) リサイクルマークのない製品のリストにより順次つける	常務
6. 地域美化活動			
地域美化活動 地域古紙回収	地域美化活動 12回/年 600kg/月	1) 月1回会社周辺の清掃を行う 2) 全員参加を原則とする 3) 月1回会社及び周辺家庭より回収する	総務

11. 当社の環境への取組(1)

1, 地域美化活動として月1回会社の周辺清掃を行なっています



2, 社員合同研修会

年2回グループ会社を含む全社員でクレーム、生産性向上などについての発表、討議を行っています
また、環境活動の成績、進捗について報告をしています



3, 太陽光パネル増設

6月に太陽光パネル(45.2kW)の増設を行いました。
既存(20.2kW)と合計で65.4kWとなり、全て自家消費としています。
電力使用量及び発電量の見える化も行っています。



11. 当社の環境への取組(2)

4, 熱中症対策

熱中症対策として、ウォーターサーバーを設置しています。
また、この水タンクは災害用の備蓄にもなります。
2023年から空調服を導入しています。



作業場にスポットクーラー、冷風扇を設置しています。



建屋のスレート屋根に、カバールーフを設置しています。
事務所・工場内の断熱効果が向上し、夏場の暑さ軽減に寄与しました。



5, カuttingマシン更新

4月にカuttingマシンの更新を行いました。



11.当社の環境への取組(3)

6, 環境に優しいCフルートの提案

Aフルート(厚さ約5mm)から、Cフルート(厚さ約4mm)への変更を提案しています。
厚さが約1mm(20%)薄くなることにより、

- ①材料(中芯)の削減
- ②積載率の向上
- ③保管スペースの削減

のメリットがあります。これらの効果により、CO2削減が見込めます。



7, ロゴマークのリニューアル

9月にロゴマークをリニューアルしました。

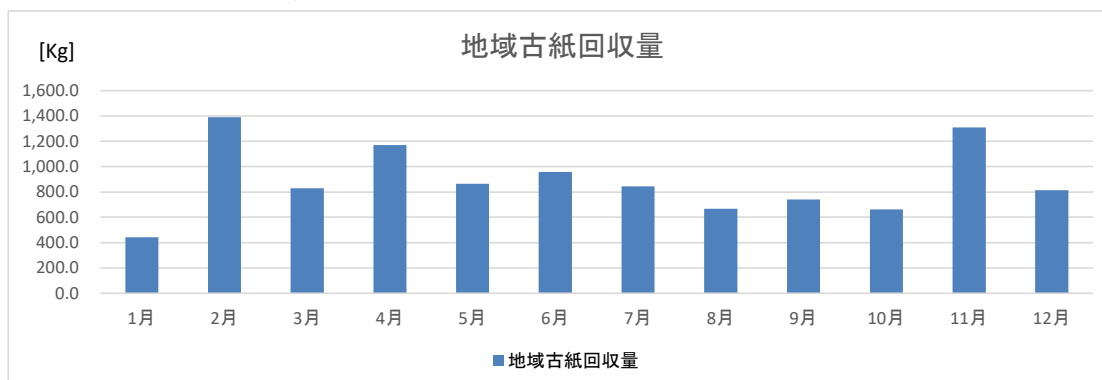


松美段ボール株式会社



8, 家庭からの古紙回収実績 (リサイクル推進のための取組み)

従業員及び地域の家庭からの古紙を回収しています
2024年度実績 10,689.5kg



12. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規等

関連法規等の名称	条項	遵守すべき事項	遵守状況
浄化槽法	第5,8条	設置、保守点検など適正な管理	遵守
改正フロン排出抑制法	第16条1項	7.5kW未満の業務用エアコンの簡易点検	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条の3	産業廃棄物管理票	遵守
自動車リサイクル法	第5条	自動車所有者の責務	遵守
	第8条	使用済み自動車の引渡義務	遵守
川棚町環境保全条例	第8、9条	事業者の責務	遵守

(2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

名称	過去3年間	2024年度
法律違反の有無	なし	なし
訴訟の有無	なし	なし
外部苦情の有無	なし	なし

環境関連法規の違反はありません。尚、関係当局より違反などの指摘はありません。
2025年2月12日 上記の環境関連法規等の遵守状況は良好。また違反、訴訟について無いことを確認しました。

2025年2月12日
環境管理責任者
福田 栄

13. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・環境経営システムの運用については、毎月のEA21・QMS委員会で各部署の責任者からの環境経営目標達成状況、是正処置及び環境経営システムの運用状況等について報告を受け、社長、環境管理責任者より指示を出しています。
- ・環境面では、2023年8月にカーパルーフを設置した工場屋根に、45.2kWの太陽光パネルの増設を行いました。既存の20.2kWも全て自家消費に切り替え、パワーコンディショナー11台を新設しました。その結果、電力購入量を前年比約21.2%削減することができました。
- ・営業部門においては、新たなマーケットの開拓に努め、顧客の課題解決型提案営業に取り組み、製品販売量の増加に狙っていきます。商品に関しては新たなアイテムの増加や段ボールケースとのセット販売を通じて付加価値の増加に努めていきます。
- ・システム面では、弊社オリジナルのWEB受注システムの登録件数は96社となりました。月当たりの平均受注件数は、91件となり、昨年の80件から11件の増加となりました。今後もさらに顧客への周知を継続し、受注業務のデジタル化を進める事により新規小ロットの受注増に繋げていきます。
- ・川棚町のふるさと納税の返礼品遊具は、293台の受注となり、過去最高となっています。4月に更新したカッティングマシン活用し、段ボール素材の活用を通じた新たな需要の創出に挑戦していきます。
- ・製造の品質クレーム数は前期よりも増え、7件発生させています。誰もがクレームを発生させない仕事の仕方を徹底していくために、検査体制の確立に努めて参ります。
- ・9月の創立52周年を迎えるにあたり、会社のロゴマークをリニューアルしました。「包装を通じてお客様の商品価値向上に貢献する」を新たなミッションとして定め、取り組んで参ります。

2025年3月17日
松美段ボール株式会社
代表取締役社長
杉本 和基